

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年9月21日発行

— 2017.9.11～2017.9.17—第37週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第34週	第35週	第36週	第37週
水痘		1 0.10	1 0.20				1 0.50	1 0.04	4 0.07	796				
流行性耳下腺炎	1 0.20	17 1.70					1 0.50	7 0.26	26 0.44	493				○
百日咳									0 0.00	0				
感染性胃腸炎	21 4.20	18 1.80	9 1.80	9 4.50	9 3.00	2 0.40		116 4.30	184 3.12	10,751	◎	◎	◎	◎
手足口病	41 8.2	50 5	24 4.80	13 6.5	20 6.67	52 10.4	15 7.5	288 10.67	503 8.53	5,562	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑				1 0.50				3 0.11	4 0.07	163				
突発性発しん	1 0.20	3 0.30	6 1.20		2 0.67	1 0.20		12 0.44	25 0.42	1,227		○	○	○
ヘルパンギーナ	3 0.6	17 1.7	10 2.00	6 3.00	7 2.33			32 1.19	75 1.27	862	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ		19 1.27						45 1.02	64 0.67	27,228			○	◎
咽頭結膜熱		1 0.10			1 0.33	2 0.40		8 0.30	12 0.20	1,375				
流行性角結膜炎		1 0.33						1 0.17	2 0.17	109				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 2.60	36 3.60		3 1.50		22 4.40	1 0.50	16 0.59	91 1.54	5,612	○	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	1				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	2 2.00		1 1.00	2 2.00	3 0.60	9 0.75	191				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	28 5.60	20 2.00	6 1.20	8 4.00	4 1.33	5 1.00	8 4.00	91 3.37	170 2.88	1,804	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	18	6	2	2			1	6					
	川崎病								1					
	不明発しん症	1							2					

◎:流行の変化について、今後の情報に十分注意
○:発生または流行について、今後の情報に留意
◌:発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 1例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

仙南管内 男性2名
仙台管内 男性5名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

大崎管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O157)
登米管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O121)
登米管内 男性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性3名

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症(E.aerogenes)

仙台管内 女性1名
梅毒
石巻管内 男性1名(第35週)
仙台管内 男性2名

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、塩釜、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、
仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

ヘルパンギーナ患者より

登米管内 第36週採取分 コクサッキーウイルスA2 2件
コクサッキーウイルスA6 3件

手足口病患者より

登米管内 第36週採取分 コクサッキーウイルスA6 2件
第37週採取分 コクサッキーウイルスA6 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第34週採取分 (8.21～8.27)	第35週採取分 (8.28～9.3)	第36週採取分 (9.4～9.10)
RSウイルス	8 件	7 件	5 件
ライノウイルス	0 件	1 件	0 件
パラインフルエンザウイルス(1型)	0 件	1 件	0 件
パラインフルエンザウイルス(3型)	2 件	2 件	0 件
パラインフルエンザウイルス(4型)	0 件	1 件	1 件

* RSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【梅毒】

2010年以降全国的に梅毒の報告数は増加傾向にあります。2017年に入り3カ月で1000人を超え、1999年以降で最も早いペースで感染が広がっています。梅毒は、「梅毒トレポネーマ」の感染によって、しこりやただれなどの症状が出るほか、妊婦の場合は流産や死産の恐れもあります。感染経路の8割は性的接触によるものであり、異性間接触による報告数の増加が続いていますが、同性間接触の増加や妊娠中の母親から胎児への感染による先天梅毒も懸念されています。2017年の県内での報告数は45例と、昨年と比較して多い状況が続いており、リスクの高い集団に対する啓発活動や予防教育が特に重要です。感染が疑われる症状がみられた場合には、早期に医師の診断・治療を受けることを心がけてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

